

「情報公開文書」

単機関研究用

下記臨床研究は「東海大学医学部臨床研究審査委員会」の承認および研究機関の長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用については、研究計画書に従って匿名化処理が行われており、研究対象者の氏名や住所等が特定できないよう安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また、本研究の成果は学会や論文等で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方又はその代理人の方の中で試料・診療情報等が使用されることについてご了承頂けない場合は、下記お問い合わせ先までご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。但し、そのお申出は研究成果の公表前までの受付となりますのでご了承願います。なお、同意の有無が今後の治療等に影響することはありません。

ロボット支援腹腔鏡下前立腺切除術中におけるレミフェンタニル持続投与が与える術後疼痛への影響に関する研究

1. 研究の対象

2015年5月1日 から 2024年7月31日 までの間に、当院の泌尿器科で前立腺癌に対しロボット支援腹腔鏡下前立腺切除術を受けられた方

2. 研究実施期間

(機関の長の許可日) から 2024年12月1日 まで

3. 研究目的・方法

目的: 下記の試料・診療情報等を利用し、術後疼痛閾値の低下について解明することを目的とした研究を実施するため、当院においてロボット支援腹腔鏡下前立腺切除術を受けられた方で、研究者が診療情報をもとに術後72時間の鎮痛薬投与量のデータを選び、術後疼痛に関する分析を行い、疼痛閾値の低下の出現する仕組みについて調べます。

方法: この研究に使用する記録として、すでに保存されている麻酔記録とカルテを使用させていただきますが、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し使用します。また、あなたの情報が漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

・ 試料：該当なし

・ 情報： 年齢、手術時間、麻酔時間、レミフェンタニル総投与量（mg）、フェンタニル投与量、術後 72 時間以内の鎮痛薬投与量、術後の嘔気・嘔吐の回数、術後せん妄の有無、術後 1 時間および 3 時間の血圧・心拍数・SpO₂

5. 情報の提供先・提供方法

該当しません

6. 利益相反に関する事項

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

7. お問い合わせ先

東海大学医学部付属病院 （電話：代表 0463-93-1121 内線：5165）

研究責任者 麻酔科／講師 渡邊 真理子

問い合わせ担当者 麻酔科／麻酔科事務局 泉谷